

# グリーフケア入門講座

～悲しみを受け止め、ともに歩むために～

身近な人との別れを作品テーマの一つとする演劇公演『エブリ・ブリリアント・シング』の関連企画として、「グリーフケア入門講座」を開催します。人生の中で遭遇する、大切な人との死別などの辛く苦しい悲しみとどのように向き合ったらよいか。深い悲しみを受け止める力と勇気を見出す「グリーフケア」の考えをご紹介します。

2020年  
2/16 (日)  
13:30～

定員 30名  
参加費 500円

(先着順、  
定員になり次第締切)

13:00開場/約90分間予定

## 会場

りゅーとぴあ新潟市民芸術文化会館  
練習室4  
(〒951-8132 新潟市中央区一番堀通町3-2)

## 参加費

500円

☆学生及び、「エブリ・ブリリアント・シング」新潟公演チケットお持ちの方は無料

※当日、学生証及び公演チケットをご提示ください。  
※未就学児はご遠慮ください。

## お申込方法

①氏名 ②〒・住所 ③電話番号 ④年齢  
⑤FAX番号 (FAXでお申込みの方)を明記の上、  
メールまたはFAXにて、りゅーとぴあ「グリーフケア講座」係までお申込みください。  
<メール> [ebt-niigata@ryutopia.or.jp](mailto:ebt-niigata@ryutopia.or.jp)  
<FAX> 025 - 224 - 5626

## お問合せ

りゅーとぴあ事業企画部  
TEL. 025 - 224 - 7000  
(平日 10:00～18:00/休館日を除く)

- ◆主催 公益財団法人新潟市芸術文化振財団
- ◆助成 一般社団法人全国モーターボート競走施行者協議会、一般財団法人地域創造



## 「グリーフ(悲嘆)ケア」とは

病気・災害・事件・事故等による親しい人との死別など喪失体験によって生じる深い悲しみから立ち直るための支援のことです。

## ◆講師◆

高木 慶子 (たかき よしこ)

上智大学グリーフケア研究所特任所長



熊本県生まれ。聖心女子大学文学部心理学科卒業。上智大学神学部修士課程修了。博士(宗教文化)。現在、上智大学グリーフケア研究所特任所長。「生と死を考える会全国協議会」会長。「日本スピリチュアルケア学会」理事長。援助修道会会員。

三十数年来、ターミナル(終末期)にある人々のスピリチュアルケア、及び悲嘆にある人々のグリーフケアに携わる一方、学校教育現場で使用できる「生と死の教育」カリキュラムビデオを制作。幅広い分野で全国的にテレビや講演会で活躍中。

著書として、『喪失体験と悲嘆—阪神淡路大震災で子供と死別した34人の母親の言葉』(医学書院)、『大切な人をなくすということ』(PHP出版)、『悲しみの乗り越え方』(角川書店)、『悲しんでいい～大災害とグリーフケア～』(NHK出版)、『悲しみは、きっと乗り越えられる』(大和出版)、『それでもひとは生かされている』(PHP研究所)、『それでも誰かが支えてくれる』(大和書房)、『それでも人は生かされている』(PHP研究所)など多数。

## ◆公演情報◆

「エブリ・ブリリアント・シング～ありとあらゆるステキなこと～」

作：ダンカン・マクミラン ジョニー・ドナヒュー

翻訳・演出：谷 賢一 出演：佐藤隆太

2020年2月8日(土)・9日(日)・11日(火・祝)各14:00開演

りゅーとぴあ新潟市民芸術文化会館 劇場(特設ステージ)

全席自由(整理番号付) 一般：4,000円 U25：2,500円

<お申込み・お問合せ>りゅーとぴあチケット専用ダイヤル  
TEL. 025 - 224 - 5521 (11:00～19:00/休館日を除く)